

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県浅口市

自治体名：岡山県浅口市

担当課名：学校教育課

電話番号：0865-44-7012

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	66.46 km <sup>2</sup>
人口	32,706 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	738 人
部活動数	26部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済 (検討委員会)
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定準備中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

浅口市は、平成18年に浅口郡鴨方町、金光町、寄島町が合併して発足した。県内の市としては、面積は最小で、倉敷市や福山市のベッドタウンとなっている。市内には、公立中学校が3校あり、合わせて738名（令和7年1月）が在籍している。本市の生徒については、少しずつではあるが、減少している。部活動も生徒数の減少により、各校で部員停止や廃部をする種目もでてきており、希望する部活動がないことが理由で、学校を転学する生徒もいる。3中学校の中

でも、比較的大きな学校では、部活動の種類が多く、生徒が活動したい部活動を選ぶことができる反面、小規模校においては、部活動の選択肢がほとんどないのが現状である。また、スポーツ少年団は盛んで、様々なスポーツができる環境が整っているが、中学生を受け入れて活動する団体はあまりない。よって、部活動の地域展開を進めていく上でも、受け皿となる団体の発掘や立ち上げが必要となっている。

生徒数予想推移



浅口市教育委員会調べ

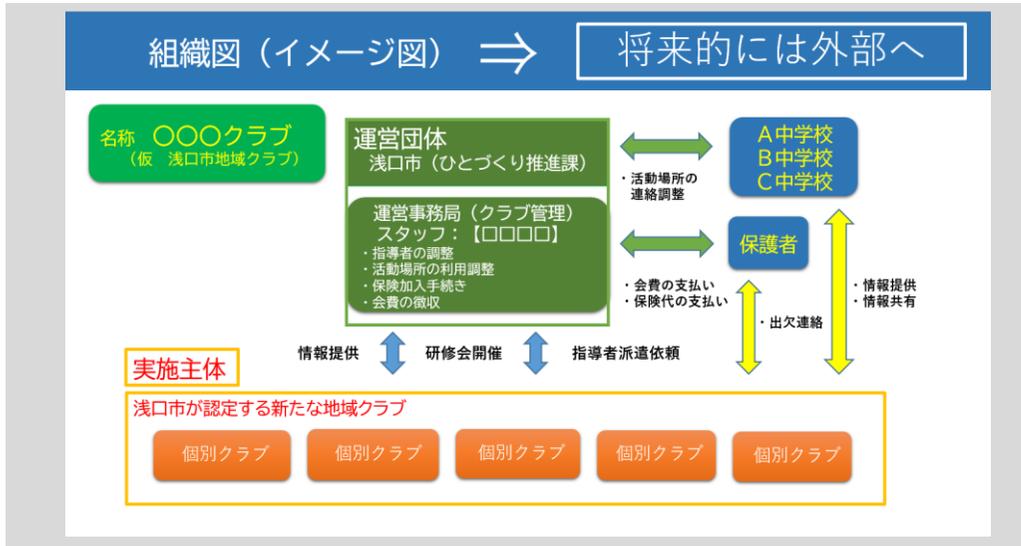


浅口市観光協会HPより

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・地域クラブと学校との連携・調整、部活動改革の主幹
- ・指導者謝金、消耗品等の支払い、会計業務

#### ◎首長部局

- ・予算措置について
- ・体制整備等について

## 年間の事業スケジュール

令和6年6月 第1回部活動地域移行検討委員会

令和6年7月 分科会の開催  
(バレー・吹奏楽・野球・組織)

令和6年10月 第2回部活動地域移行検討委員会

令和6年11月 地域クラブ活動(ソフトテニス)  
の実施

令和6年12月 地域クラブ活動(バレーボール、  
陸上)の実施

令和6年12月 体づくり運動(体力向上活動)  
高校との連携活動の実施

令和7年2月 第3回部活動地域移行検討委員会

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	4クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（6部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	3人

#### ②各クラブに関すること

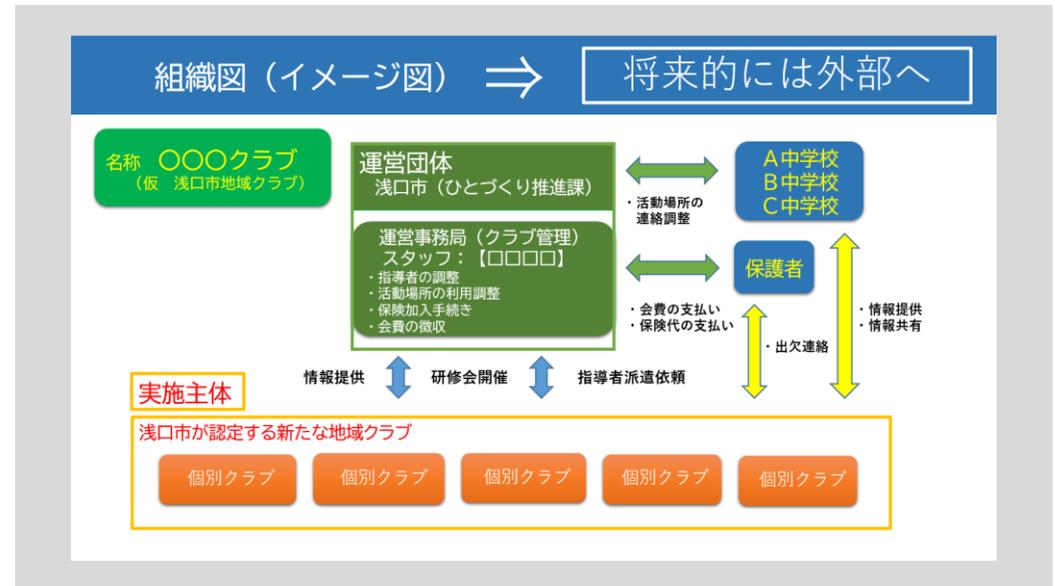
クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
浅口バレーボールクラブ(仮)	市町村運営型	バレーボール(新)	月2回程度	休日 9:00～12:00	中学1,2年 20名程度	R6.11～	金光中学校体育館	2人	3人 (内、兼務3人)	1回100円	練習のみ
浅口ソフトテニスクラブ(仮)	市町村運営型	ソフトテニス(新)	月2回	休日 9:00～12:00	中学1,2年 15名程度	R6.11～	鴨方中テニスコート	3人	3人 (内、兼務3人)	1回100円	練習のみ
体づくり運動(仮)	市町村運営型	体幹トレーニング等(新)	2回実施	水曜 17:30～19:00	小5年～中3まで15人程度	R6.12～	おかやま山陽高校体育館	2人	3人 (内、兼務3人)	1回100円	なし
浅口陸上クラブ(仮)	市町村運営型	陸上(新)	毎週1回程度	休日 9:00～12:00	中学1,2年 20名程度	R6.12～	鴨方中グラウンド	2人	3人 (内、兼務3人)	月100円	なし

## 主な取組例

### ●バレーボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール（女子）
運営団体名	浅口市教育委員会
期間と日数	11月～3月 月2回程度（など）
指導者の主な属性	元教員、地域指導者
活動場所	公立中学校体育館
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	1回 100円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者（事務局）  
役割：日程の調整、お金の管理、施設の調整を行う
- 指導者 2名  
役割：活動場所の準備、生徒の指導、カギの管理を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○部活動地域移行検討委員会を実施し、学校、関係団体、地域の意見を聞きながら、実情に合った地域展開を目指していく。

○部活動地域移行コーディネーターを配置し、学校や関係団体と連絡調整を行うことで地域クラブづくりを進めていく。

○活動の計画、日程調整、指導者確保、広報、会費徴収など、新たなクラブづくりに向けて取組を進めていく。

##### 取組の成果

○部活動検討委員会を年3回開催し、学校や関係団体、地域の意見を聞きながら、新しく地域クラブのスタートとなる動きをつくることができた。その中で、県の地域移行支援アドバイザーの助言を参考にしながら、ロードマップを作成した。

○部活動地域移行コーディネーターを配置することで、学校や各関係団体との連絡調整をスムーズに行うことができた。また、コーディネーターは他市とも連絡を取ったり情報共有をしたりすることで、将来的に広域で地域展開を進めていく協議をすることができた。

○まずは、地域クラブ化を見据えた活動を実施するために、指導者確保やクラブ活動の日程調整や広報を行うことで、4つのスポーツ活動をスタートすることができた。



部活動地域移行検討委員会の様子

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

【部活動地域移行コーディネーター】

- ・クラブ活動を巡回し、指導者へのヒアリング、生徒へのアンケートを実施。
- ・分科会を開催し、個別の競技のニーズや課題等を聞き取った。
- ・学校や参加者、指導者との連絡調整を実施した。

##### 今後の課題と対応方針

現在の部活動を担うことができる総合型スポーツクラブがないので、持続可能となる運営主体をどうしていくかが大きな課題である。

現状では部活動しかない競技もたくさんあるため、各競技で受け皿となりうる地域の団体の発掘や立ち上げを進めていきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

指導者の確保について

- ・部活動の顧問に相談して、知り合いの指導者はいないかを尋ねて、指導者に直接声掛けを行った。
- ・部活動検討委員会で、指導者確保について相談をして、指導者の紹介をお願いした。
- ・地域のスポーツ少年団を担当やコーディネーターが訪問し、指導者になってもらえる人材がないか聞き取りを行った。

人材バンク(人数・年齢)	指導者属性	種目	資格有無
人材バンクには、数名の指導者しか登録していない。 年齢は、40代から50代の年齢層である。	指導者は 小・中教職員 元教員 保護者 地域指導者 など	【文化】 吹奏楽、美術 【運動】 陸上、バレーボール ソフトテニス、など	特になし。 (現在は、大会等に参加するというよりは、地域クラブとして活動し、楽しく練習をすることに重きをおいているため)

##### 取組の成果

部活動の受け皿となるスポーツクラブを探したが、日程や条件等が合わずに、連携をして活動することができなかった。そのため、教育委員会が中心となって、新たにクラブ的な活動を計画し、学校や地域と相談をして、人材確保に取り組んだ。部活動の顧問が地域指導者として参加したり、地域の指導者をお願いしたりしながら、バレーボールや陸上、ソフトテニスのクラブ活動を進めた。今後は、広く募集をしながら、他の競技でも人材確保に努めたい。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

指導者とは面談をして、気を付けてほしいことや知っておいてほしいことについて話をした。

- ・部活動地域展開の意義の背景について
- ・指導者に求められる資質と責任
- ・コンプライアンスについて
- ・ハラスメント防止について
- ・熱中症対策について
- ・指導時間や体調管理について
- ・危機管理について
- ・教育的な配慮（ほめる・認める・励ます）など

##### 指導者研修の状況

クラブ指導者とは、面談をして、心配なことや困っていることを聞き取るとともに、気を付けてほしいことや注意点等を伝えた。また、クラブ活動の練習後にも話合いの場を持ち、コンプライアンスや適切な指導についての確認や指導を実施した。

##### 受講者の声

- 事前に時間をかけて話をすることができて、大切なことや気を付けることを確認することができてよかった。
- 熱中症のことについて話を聞くことができ、こまめな水分補給をすることの大切さを再確認した。また、夏場の開始時間や活動時間を工夫したいと思った。
- 市の中学生が楽しく活動できるように、ルールを守って指導していきたい。

##### 今後の課題と対応方針

個別で対応したため、研修会という形で全員が集まって話をする場はなかった。人数が多くなってくると、個別に時間をとることが難しくなるので、研修会を設けて、全員に気を付けてほしいことを周知したり競技や種目を超えた指導員同士の協議を実施したりすることで効率よく研修を実施したい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

スポーツ少年団の指導者を中心に部活動の置かれている状況や今後の方向性について説明をした。中学生の受け皿として活動するには、どのような条件や時間であれば可能かなどについて話をきいた。

##### 取組の成果

すでに中学生の受け入れをしている団体もあったが、多くはなかった。スポーツ少年団に中学生の受け入れの有無について確認をした。受け入れることが可能とする団体もあったが、条件や時間が合わずに新規に受け入れ団体を開拓することができなかった。競技によっては、部活動の顧問や地域の指導者と中学生の新たな活動場所について話合いの場をもち、今後の在り方について検討した。それがきっかけで、バレーボールは活動をスタートすることができた。

#### 浅口市スポーツ少年団中学生受け入れについての課題

##### スポーツ少年団からの意見

- ・ 人数が多くなるとコーチの人数が足りなくなるので、指導は厳しい。
- ・ 練習を行うことは可能だが、専門の指導者がいないため公式戦は難しい。
- ・ 練習場所の確保が課題。
- ・ 小学校とボールの大きさやネットの高さが違うので指導が難しいし不安。

#### 今後の課題と対応方針

今年度実施できなかった活動についても、週末のクラブ化に向けてスポーツ協会やスポーツ少年団など、関係団体と協議をしていく。しっかり要望や意見に耳を傾け、問題を解決していけるように取り組む。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

クラブ活動を実施していく上で、まずは参加活動費を低価におさえることにより、ハードルを低くし、子どもたちが参加しやすい環境づくりに努めた。今年度の実証事業の取組については、1回100円の参加費として、それ以外の費用は、市で対応することにした。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

基本的に、活動場所は学校の施設を利用した。活動場所にかかわる費用は全額減免申請にて対応し、道具についても学校の道具を利用させてもらった。活動場所までの移動は、各自の責任において対応してもらい、自転車、徒歩、保護者送迎等で移動していた。

##### ■ランニングコストの分析

今年度は、指導者謝金を時給1600円に設定し、実証事業を行った。参加者の人数と指導者の人数のバランスは今後の検討課題である。毎回、指導者に実施報告書の提出をお願いし、活動時間や消耗品費、課題や要望等を報告してもらい、費用や取組の問題点などを共有した。

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

##### シュミレーション

$$\begin{array}{l} \text{経費} \quad 630 \text{万円} \div \text{参加人数} = 22,500 \text{円} \\ \text{(1団体あたり70万円(主に謝金)} \times 9 \text{団体)} \quad \text{280人} \quad \text{(1人あたり)} \\ \text{(4800円} \times 3 \text{人} \times 48 \text{回} = 691,200 \text{円)} \quad \text{(現在1,2年で380人)} \quad \text{(想定)} \end{array}$$



**受益者負担額 2000円/月**  
 (謝金以外の消耗品や保険代等を含む)  
 市の補助や協賛金等の支援があれば減額も可能



##### 今後の課題と対応方針

今年度は、費用の多くを実証事業の補助金を活用して実施したが、持続可能なものにしていくためには、受益者負担が原則になってくると考えている。休日のみ(週1回)の費用負担であっても、月2000円の支払いは必要であると考えている。しかし、公的負担やそれ以外の収入源があれば、保護者の負担軽減につながっていくため、市長部局とも連携をして新たな形を模索していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

週末の地域クラブ活動については、学校の体育館やグラウンドを利用した。利用費はかからずに無料で使用した。

学校と連携をして日程調整を行い、活動場所の奪い合いにならないように配慮して活動日を設定した。

##### 取組の成果

学校に体育館やグラウンドの使用状況を確認し、学校や関係団体に迷惑がかからないように場所を確保することができた。学校と事前に話をして、学校の備品（バレーボールのネットや陸上のハードルなど）を利用し、とくに問題なく活動することができた。活動を実施したあと、指導者に困ったことや課題、改善点などについて聞き取りをして、今後の取組に活かせるようにした。グラウンドにある倉庫や体育館の鍵は、事前に借りることで問題はなかった。



##### 今後の課題と対応方針

活動場所のカギについては、手続きが煩雑なところがあり、もう少し簡単に貸し借りができるようにしてほしいとの要望があったため、今後検討していく。

同じ場所で活動をする、学区に近い中学生は自力で参加できるが、遠い生徒は保護者の送迎が必要な場合がある。可能な範囲で活動場所の工夫も検討していく。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

新たな活動の創出として、実証的に地域の高校と連携をして、運動能力の向上に向けた取組を行った。対象は小学校5年生から中学校3年生を対象として、高校の部活動の指導者や生徒とともに、長縄をしたり、ジャグリングをしたりしながら楽しく運動を行った。高校の施設を使用させてもらう

ことで、動体視力のトレーニングなど中学校ではできない活動も実施することができた。高校生から教えてもらうことで、新たな刺激を受けた子どもたちが多く、継続して活動をしてほしいとの感想がたくさんあった。

##### 取組の成果

子どもたちが楽しく活動に取り組むことができた。他校の生徒との交流や小学校、中学校の異校種の交流にもなった。また、高校生から教えてもらう機会がほとんどない子どもたちが多く、高校生が優しく教えてくれたことに保護者・児童生徒ともに喜んでいった。



##### 指導者の属性や配置の工夫

○指導者の属性

高校の部活動の顧問・生徒

○配置の工夫

子どもたち数人に、高校生が1人ついて、いっしょに活動をしたり、見本をみせたりすることで、わかりやすく教えることができた。



##### 今後の課題と対応方針

部活動の受け皿だけでなく、スポーツ環境を豊かにしていく活動にも継続して取り組んでいく。しかし、日程調整が難しく、活動する時期や時間帯などを検討していく必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

昨年度までも、部活動の地域移行については、協議会を開催し、本市の子どもたちのスポーツ環境をどうしていくのかを話し合ってきた。様々な立場の方から様々な意見がでることで議論を深めてきたが、一方で、多様な意見がでることで具体的に進めることができない状況もあった。今回、この実証事業を受けて、「まずはやってみよう」を合言葉に取組を進めた。コーディネーターを配置し、学校や地域指導者に声掛けを行い、部活動の受け皿となり得るクラブづくりを進めていった。教育委員会が指定した活動で分科会を実施し、4人から6人程度の教員や地域指導者、事務局で話し合いをした。その中で、まずは、教育委員会事務局が中心となって、新たなクラブ活動を実施することができた。また、市内の高校と連携をして、「体づくり活動」として、体力向上活動も実施した。地域のスポーツ活動を豊かにしていく視点で、新たな取組をスタートすることができた。一方で、学校の先生方の理解を深めるために、コーディネーターや担当が、学校で状況の説明や話し合いを実施した。今後も、学校、生徒、地域への広報を続けながら、理解を深めていきたい。

#### ●成果の評価

昨年度までは、部活動の受け皿となりうる活動がほとんどなかったが、今年度は、バレーボール、陸上、ソフトテニスと新たなクラブ的な活動を実施することができた。また、地域の高校との連携の中で、体力向上の活動を実施し、浅口市のスポーツ環境を豊かにする取組としてスタートできた。子供たちの感想には、「とても楽しかった」「新しいことを学ぶことができた」「またしたい」という肯定的な感想が9割程度あり、子どもたちにとって有意義な活動になったことがわかる。一方で、まだ、課題も多い。保護者との連絡ツールが整っていないため、急な変更があったときに、電話連絡で対応した。鍵の管理は、煩雑で、指導者からもう少しスムーズに対応ができないかという要望もあがっている。現在は、受益者負担額を非常に安く抑えて、活動に参加しやすい状況をつくっているが、今後、費用負担の在り方についても検討していく必要がある。

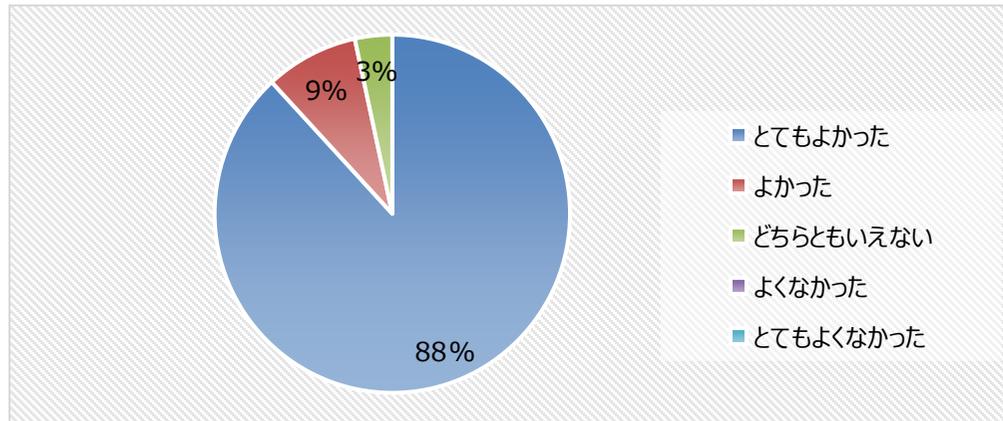
#### ●今後に向けて

今年度スタートした活動について、さらに良いものにしていくように生徒や指導者、保護者の意見をしっかりと聞きながら、継続して進めていきたい。今年度は、教育委員会事務局が主体となって活動をしてきたが、持続可能な体制づくりをどのように進めていくかを整えていきたい。また、広報を継続して行い、部活動を地域に展開することにより、本市のスポーツ環境が豊かになり、地域全体で子ども達の成長に携わるという意識が地域にも根付いていくようにしていきたい。予算についてや体制づくりについては、市長部局と連携を取りながら進めていきたい。

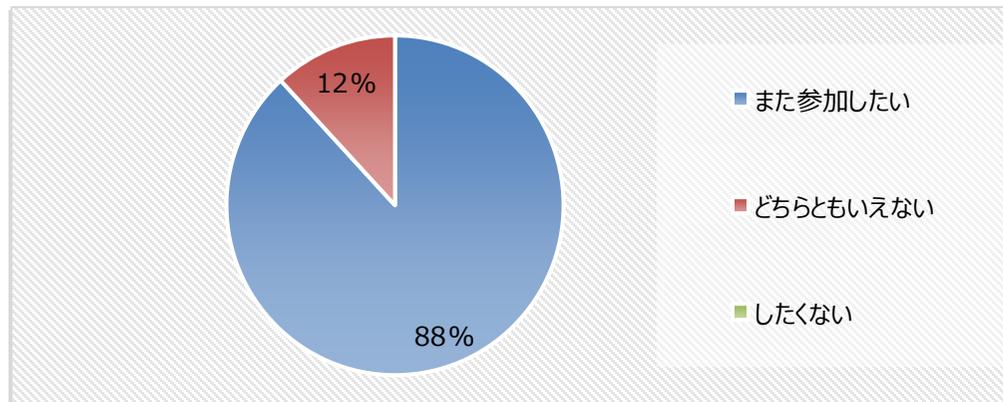
### アンケート結果・参加者の声

#### ● アンケート結果(クラブ活動を実施したバレー、体づくり運動で実施)

Q. 合同の練習会（クラブ活動）に参加してみてどうでしたか。



Q. 次回以降の合同の練習会（クラブ活動）の参加について



#### ● 参加者の声

中学2年生（バレーボール）  
他校の生徒と一緒にチームで練習するのが楽しかった。またしてみたいと思った。

中学1年生（バレーボール）  
いつもと違う指導者の方に教えてもらうことで新しいことをたくさん知ることができた。別のチームの子と話をすることができたことで新しい発見があった。

中学生（体づくり運動）  
高校生と一緒に活動することができてとても楽しかった。いろいろなことを優しく教えてくれたのでうれしかった。体の動かし方を意識することで運動能力が向上するを知ることができた。

指導者  
最初は知らない生徒と一緒に活動するということで、硬さがあり、同じ学校ごとで固まって話をしたり、練習をしたりする姿があった。しかし、時間が経つにつれて交流する姿が多くみられるようになり、いきいきと活動することができていた。最初と比べて雰囲気はよくなり、またしたいという声がたくさん聴けたのはよかった。

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【ソフトテニス】



【陸上】



【バレーボール】



【体づくり運動（高校との連携）】

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

部活動検討委員会の設置

生徒・保護者・教職員への説明

実証的に地域クラブ活動の実施

令和7年

地域移行に向けての体制の整備

地域クラブ活動の拡大

令和8年

すべての部活動で地域クラブ活動

●令和4年度から部活動地域移行について検討をしてきたが、令和6年度から部活動地域移行検討委員会を新たに立ち上げ協議を進めた。

〈参加者〉

地域移行支援アドバイザー、学校長、PTA代表、学校運営協議会代表、スポーツ協会、文化連盟、部活動顧問代表、地域指導者、スポーツ少年団指導者、NPO等

○今後のロードマップを示しながら、方向性に向けての意見交換

○分科会の実施

指定した活動（野球、バレー等）では、少人数グループでの話し合いの場を設けて協議を行った。

●生徒・保護者・教職員への説明  
広報チラシを配り、現在の部活動の状況や今後の方向性などについて周知に努めた。学校には、職員会議で事務局から説明をした。新入生説明会では、保護者に向けて令和8年度から休日の部活動はなくなることをお伝えし、休日の活動は地域クラブとして活動することや受益者負担が生じることなどを説明した。

●休日のクラブ活動の実施  
できるところから休日の部活動を地域クラブ化していくために、実証的にバレーボール、陸上、ソフトテニスの活動を実施した。

●地域クラブ活動の拡大  
実施できていない活動の受け皿となる団体や指導者の確保を進めていく。

●分科会の実施

令和6年度に実施したクラブ活動をさらに広げていくために、話し合いの場を設けて個別のニーズ調査や課題の整理を顧問や地域指導者と共に取り組んでいく。

●受益者負担や公的支援の整備

●生徒・保護者・地域・学校への説明の継続

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

## 部活動地域移行ロードマップ



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 岡山県和気町

自治体名：岡山県和気町

担当課名：学校教育課・社会教育課

電話番号：0869-88-1115（学校教育課） ・0869-93-3592（和気町体育館・社会教育課スポーツ振興係）

## 基本情報

面積	144.2 km <sup>2</sup>
人口	12,604人
公立中学校数	2校
公立中学校生徒数	260人
部活動数	運動部13部活 文化部3部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

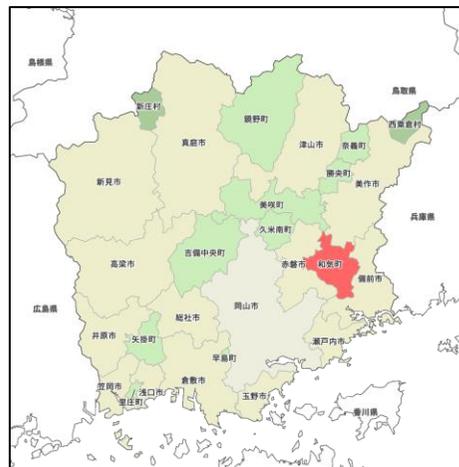
平成18年3月1日に旧佐伯町、旧和気町の両町が合併して誕生した和気町は、岡山県の南東部に位置し、備前市や赤磐市に接し、吉備高原から連なる標高200～400mの山々に囲まれた自然豊かな町である。

本町では、令和3年3月、「第2次和気町総合計画」を策定し、リーディング・プロジェクト「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも示された「スポーツの振興」に取り組んでいる。これまで、関係団体と連携しながら、若い世代から高齢者まで町民一人ひとりの体力や年齢、技能、興味、目的に応じて運動・スポーツに親しめるよう働きかけてきた。今後は、さらに高齢化が進むことが予想され、それに伴い健康寿命の延伸が課題となっている。

また、スポーツを通じた交流や親睦を図るため、各種スポーツやレクリエーションの集いや講習会等を開催する等、

ライフステージに合わせた参加機会の拡充が重要となっており、拡充を目指す一環として、**総合型地域スポーツクラブ（和気クラブ）との連携**を進めてきた。子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多目的）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）要素を併せもつ総合型地域スポーツクラブは、**少子化により種目によって存続そのものが難しくなっている中学校部活動の受け皿としても期待**されている。

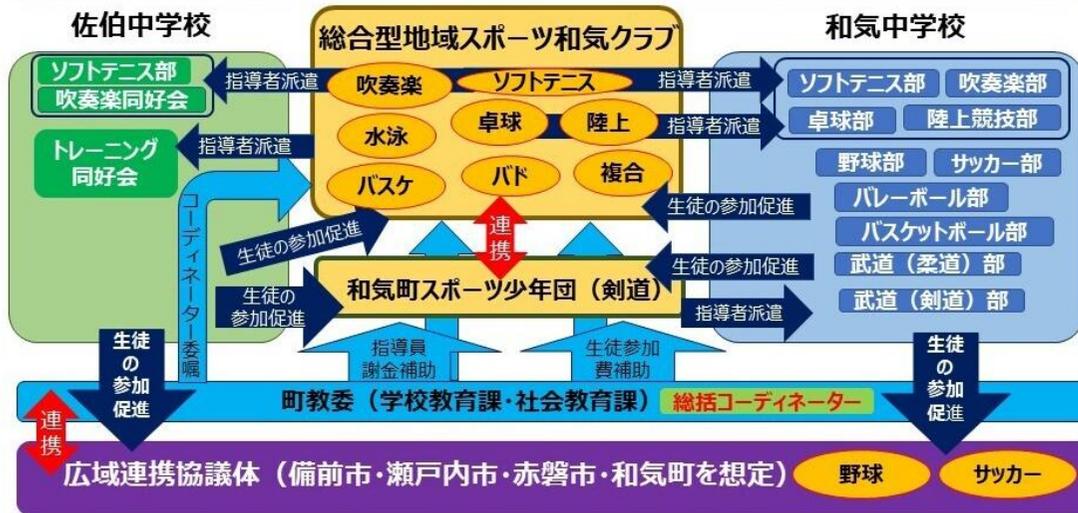
こうした背景を踏まえ、本町では**令和4年度、部活動の地域移行に向けた検討委員会を設置し、中学生のスポーツ・文化芸術環境づくりについて**以下に示す内容について検討・協議を重ねている。



# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

(学校教育課) 部活動の地域移行の企画、全体計画作成、学校との調整  
 (社会教育課スポーツ振興係) 総合型地域スポーツ和気クラブ、スポーツ少年団事務局、同連絡調整、予算  
 (和気町中央公民館) 町文化連盟事務局、公民館事務局

#### ◎首長部局

(総務課危機管理室) 町営バス運行関係  
 (まち経営課移住推進室) 指導員確保関係 (移住者等への啓発)

## 年間の事業スケジュール

月	主な行事等
4月	・和気クラブが一般社団法人になる ・スポーツ庁・文化庁委託事業契約 佐伯中学校にトレーニング同好会設立（野球部募集停止）
5月	佐伯中トレーニング同好会活動への環太平洋大学教員・学生の指導開始【平日の部活動移行の試行】
7月	・先進地視察（長野県飯田市）【部活動実施種目以外の活動の先行事例収集】 ・地域移行に向けた教職員アンケート実施【ニーズ把握】
9月	・指導者研修会（中学生期のトレーニング、地域移行に係る法的責任）【指導者の資質向上】 ・先進地視察（長野県南佐久郡佐久穂町）【複数自治体の広域連携による地域移行の先進事例収集】 ・地域移行に向けた保護者及び児童生徒アンケート実施【ニーズ把握】 和気中学校区トレーニング・クリニック活動開始【平日の部活動移行の試行】
12月	・広域連携に向けた東備地域自治体担当者連絡会【広域による受け皿整備】 ・部活動の地域移行に向けた検討委員会
2月	和気クラブ主催行事（バスケットサークルレベルアップクラス体験会）【活動の幅拡大】
3月	広報和気4月号（部活動の地域展開に向けた令和6年度の取組）【啓発】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	5クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ（0部活）※現状としては、部活動と併存のため
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	13人	全体の運営スタッフ数	11人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ソフトテニスクラブ	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	週2～3回	19:00～21:00	中1 4人 中2 2人 中3 15人	通年	和気鶴飼谷温泉テニスコート	1人	0人	月会費 2,000円/ 年会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
陸上競技クラブ	総合型地域スポーツクラブ	陸上競技	週2回	18:00～20:00	中1 4人 中2 5人 中3 1人	通年	小・中学校運動場	6人	1人	1回500円/ 年会費 3,000円 (など)	中体連：部活動 その他：地域クラブ
バドミントンクラブ	総合型地域スポーツクラブ	バドミントン	週2回	19:00～21:00	中1 2人 中2 0人 中3 4人	通年	町体育館	2人	1人	1回500円/ 年会費 3,000円 (など)	現在のところ、 大会には出ていない。

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 剣道クラブが新入団員獲得のための「体験DAY」を開催（4月）
- ソフトテニスクラブが卒団会兼近隣中学校招待試合を開催（9月）
- バスケットクラブ内にレベルアップクラスを開設するための体験会を開催（2月）

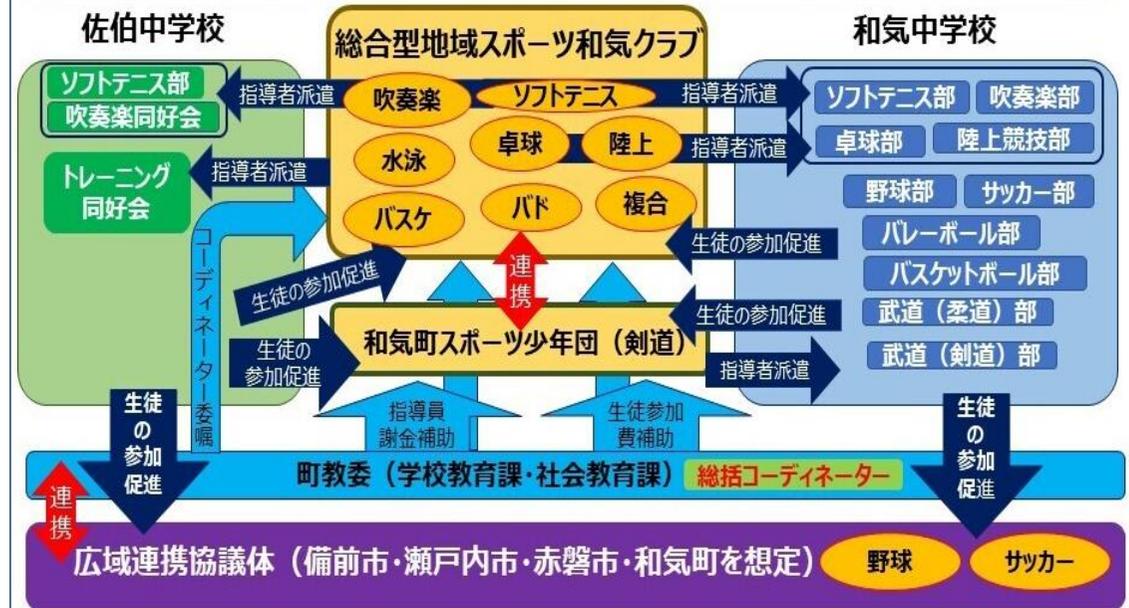
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●総合型地域スポーツ和気クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニスクラブ、陸上競技クラブ、バスケットクラブ、バドミントンクラブ
運営団体名	総合型地域スポーツ和気クラブ
期間と日数	ソフトテニス：週2～3回程度 陸上競技：週2回（月8回）程度 バスケット：隔週1回（月3回）程度 バドミントン：週2回（月8回）程度
指導者の主な属性	会社員
活動場所	ソフトテニス（和気鶴飼谷温泉テニスコート） 陸上競技（和気小、佐伯中運動場） バスケット（和気町体育館） バドミントン（和気町体育館）
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	教室活動（陸上競技、ソフトテニス、バドミントン）：年会費3,000円、参加費1回500円 サークル活動（バスケットボール、バドミントン）：年会費3,000円、参加費無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等（陸上競技クラブの例）

##### ●統括責任者

役割：4つのカテゴリ（ベーシッククラス、ネクストクラス、レベルアップクラス、エンジョイクラス）の活動の全体指示及び主にネクストクラスでの指導を行う

##### ●主任指導者 3名

役割：各カテゴリの活動を中心に行う

##### ●運営補助者 2名

役割：各カテゴリの指導補助及びトレーニング指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 1 元中学校長を部活動の地域移行総括コーディネーターとして配置
- 2 総合型地域スポーツ和気クラブ理事長をスポーツの部コーディネーターに委嘱
- 3 部活動の地域移行に向けた検討委員会 ※県教委委嘱部活動地域移行支援アドバイザー招聘
- 4 学校教育課（企画）、社会教育課（渉外、財務）、コーディネーター（運営）の三者で情報を密に共有するため、Googleスプレッドシート・グループLINE等のICTツールを活用

##### 取組の成果

- 1 教育委員会に週1日（7.5時間）勤務し、他自治体の事例をもとにした推進計画たたき台の作成、保護者等アンケートの作成、関係団体（町内で受け皿となりうるクラブや商工会等）代表者との協議を行った。
- 2 地域主体で多くの受け皿を整備している長野県飯田市・下伊那地区を視察し（右上写真参照）、現行の地域クラブの中に、学校の部活動にない活動（例：eスポーツ、ビリヤード、スケートボード等）など、多様な受け皿を整備できるよう講師の発掘を行った。町内在住の講師候補を発掘し、今後の体験会に向けて調整を行っている。
- 3 保護者代表を委員に委嘱し、意見を聴取した。送迎の負担軽減策や多様な受け皿の整備の必要性等、実証事業1年半の成果及び今後の課題について協議を行った（右下写真参照）。



【先進地視察の様子（e-スポーツ教室）】



##### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 総括Co.：和気相撲クラブ、和気町商工会と関係を構築した。和気相撲クラブの受け皿団体としての登録や、商工会加盟企業従業員が地域クラブ活動指導者として従事する際の勤務条件優遇について提案した。
- スポーツCo.：クラブにない受け皿をつくるため、町内の講師発掘に努めた（元サッカー少年団指導者、eスポーツ経験者等）。

##### 今後の課題と対応方針

子どもたちの多様なニーズにこたえるためには、受け皿のバリエーションが必要であるが、その充実のためには人的リソースが不可欠である。町内在住者はもとより、町内企業在勤者、大学関係者との連携を一層強化し、多くの人を巻き込むよう働きかけていくためには、コーディネートを担う人材の配置も不可欠である。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

体育系大学との連携

- (1) 大学教員（大学生）の支援
  - ・佐伯中学校トレーニング同好会
  - ・和氣中学校区トレーニング・クリニック
- (2) 部活動単位での大学生の支援
  - ・バスケットクラブ（レベルアップクラス）体験会
- (3) 指導者情報の照会
  - ・児童生徒の要望を受けダンスクラブ（仮称）を開設予定

##### 指導者発掘

町内では人材バンク制度はないが、比較的密な人間関係による情報交換及び、行政等による関係者をつなぐ働きかけにより、複数の指導者発掘につながった（計8名、20～40代）。

##### 種目

令和6年度に新規に発掘した指導者の種目

- ・トレーニング
- ・サッカー
- ・バスケットボール
- ・ダンス
- ・スケートボード
- ・eスポーツ

##### 資格有無

・大学生は現時点で資格の取得は義務付けてはいないが、今後、継続的にかかわる上では、何らかの資格取得または大学での講義受講を条件とすることも考えられる。

##### 取組の成果

(1) 佐伯中学校トレーニング同好会への支援は、平日の部活動の移行の試行として、令和6年5月からのべ16回実施した（令和7年2月9日現在）。生徒の声として「ゲーム的な活動を楽しみながら、知らず知らずのうちに体を正しく動かすことを学ぶことができた。」があり、また、大学生からは「将来、アスレチックトレーナーになりたいという思いを持っているが、どう説明・実演すれば中学生に分かりやすいかを考えることができた」といった感想があり、双方にとって意義のある活動となっている。

(2) 中学生のバスケットボール経験者のニーズに応えるために開設予定のクラスへの支援を大学男子バスケットボール部学生に依頼した。大学部活動のオフシーズンでの開催となったが、今後、継続的な活動にするためには、大学の授業に組み込み、単位認定できるような仕組み作りも考えられる。



【大学教員等の技術指導（トレーニング同好会）】



【バスケレベルアップクラス体験会写真】

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

令和6年度部活動の地域移行に関する指導者研修会

テーマ1 中学生期の効果的なトレーニング（体育学部講師）

主な内容） 中学生期のトレーニング 概論・各論

体力向上のトレーニング例 実技含

怪我予防と身体づくりトレーニング例 実技含

栄養とリカバリー（睡眠）

指導スキル・留意点（動機付け）

テーマ2 部活動の地域移行に関わる法的責任（町顧問弁護士）

主な内容） ○部活動の事故事例 ○事故の種類 ○部活動の

ハラスメント事例 ○法的責任及び誰が責任を負うの

か ○指導者の安全配慮義務 ほか

##### 指導者研修の参加実績

・開催日： 9月8日（日） 13:00～16:40

・開催回数： 1回

・参加人数： 約15人

町教委、総合型地域スポーツ和気クラブ主催で年間1回研修会を開催している。町内外のスポーツ指導者だけでなく、学校現場の管理職や県教委指導主事、県中体連幹部役員らの参加があった。

##### 受講者の声

他自治体中学校長の声

「本市はまだまですので、ぜひ参考にさせていただきます。何より、部活以前に学校内の危機管理の視点から、はっとさせられる内容でした。（中略）まずは、校内で「口をすっぱくして」注意喚起をしていきたいと思います。」



【指導者研修会の様子（中学生期の効果的なトレーニング）】

##### 今後の課題と対応方針

1 対象の明確化

・地域スポーツ・文化芸術団体の指導者共通の研修機会の設定（対面・オンライン）

2 内容の充実

・指導対象年齢・年代に応じたメニューの設定

・安全配慮義務等法的責任の観点からの研修内容の設定

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

1 部活動の地域移行に関する  
検討委員会

協議テーマ（例）

（ア）生徒の移動手段確保

（イ）保護者の財政負担

（ウ）多様な受け皿の整備

（エ）活動の広報

（オ）指導者の確保

（カ）広域連携に向けて

2 大学との連携

3 商工会との連携

#### 取組の成果

1 令和6年12月、これまでの実証事業の成果及び課題を検証するために、検討委員会を開催した。地域スポーツ関係団体代表、中学校長、小学校保護者代表、首長部局関係課（室）長、教育委員会教育長他職員らで小グループをつくり、左記6つのテーマについて今後の方向性を協議した。

（ア）では、現在運行している町営バスのダイヤを活用した生徒の活動場所までの移動の可否、（イ）ではふるさと納税や地元企業からの支援等、公費負担に頼らない運営に向けた方策等を協議した。

2 包括連携協定を締結しているIPU・環太平洋大学と密に連携することで、指導者や活動場所の充実につながった。

【部活動の地域移行に向けた検討委員会分科会での協議の様子】



#### 町営バス（わけまる号）の運行実績

- ・日数 週5日（月～金）
- ・利用者数 1路線1日あたり平均7.9人
- ・運行経路 和気～佐伯線など14路線  
午後4時台に2中学校区間を移動する便が2往復あり、生徒が利用可能（利用人数によっては大型便で運行する必要あり、調整が必要）

#### 町営バス（わけまる号）の運航経費・収入

- ・人件費  
既存バスへの乗車のため、新規経費は不要
- ・利用料  
小・中学生のバス利用料金は無料  
※今後、生徒の移動のためのダイヤ見直しで運行本数を増やす場合は人件費が別途必要

#### 今後の課題と対応方針

地域クラブ活動終了時刻後の便はないため、保護者による迎えは必須となっている。今後は、生徒の帰宅時の移動手段の検討が必要である（保護者送迎、町営バスの増便、民間タクシー事業者との連携、総合型地域スポーツ和気クラブによるバス所有等）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

1 東備地域情報連絡会の設置と定期的な情報交換の場の確保

##### 主な協議事項

- (1) 各自治体内のリソース把握
- (2) 関係者の協力体制
- (3) 今後の方向性

##### 各自治体の役割

中学校体育連盟の地区総体を開催している4市町の学校教育・社会教育担当者が対面またはオンラインで現状を共有したり、課題に対して協力してアイデアを出したりすることを目的に令和6年8月から活動を行っている。スポーツ庁の実証事業を受けている本町が発起人となり、各自治体に声をかけ、左記事項について計3回協議を行った(令和7年2月9日現在)。

##### 移動手段

中山間地域が多く、公共交通手段としてはエリアを東西に走るJR2路線(山陽本線、赤穂線)、各自治体が運行する公営バスがある。JRの結節点は岡山市内にあるため、エリア南北間の移動手段は保護者送迎に限られる。また、一部、自治体外を走る公営バスもあるが、その本数は限られており、生徒が自力でエリア内を移動することは困難である。

##### 事務局運営の方法

現在は、実証事業を受託している本町が窓口を担っているが、持続可能な方法とは言えない。本年、先進地視察で長野県南佐久郡佐久穂町を訪問し、広域連携の手法について学んだ。4町2村が同一郡内であることのメリットを生かし、各自治体が負担金を拠出し、総括コーディネーターを配置したり、移動のためのバスの手配を行ったりしている。

##### 取組の成果

自治体担当者間で次のことを確認した。

- (1) 各自治体で行ったアンケート等のフォーム、依頼文の共有
- (2) 地域スポーツクラブ主催行事の情報提供
- (3) 2か月に1回程度の情報交換会の継続

出典：<https://images.app.goo.gl/j2w7NPhnN9BGa5LUA>



##### 今後の課題と対応方針

上記先進自治体の取組を参考にするとともに、消防や上下水道等、他の事業で行っている広域連携の手法も研究しながら、エリアでの行政機関の連携方法を模索していく。また、すでに広域で連携して活動を行っている剣道競技等、受け皿団体間の連携についても考えていきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

#### 1 総合型地域スポーツ和気クラブ（陸上競技クラブ）

参加者が目指すゴールや現在のスキルレベルに応じた4つのカテゴリーに再編（従来は3つ）

- ベーシッククラス
- ネクストクラス
- レベルアップクラス
- エンジョイクラス

#### 2 大学と連携したコーディネーション・トレーニングの場づくり（トレーニング・クリニック）

##### 活動の詳細（上段：陸上競技クラブ 下段：トレーニング・クリニック）

参加人数	12人（有料会員）※中学生のみ	指導者数	6人
属性	総合型地域スポーツクラブ		
具体的な内容	ベーシッククラス：個人の運動能力を上げて学校等のイベントで活用できる（幼稚園以上） ネクストクラス：走・跳・投を総合的にトレーニングし、自己記録更新に挑戦する（小3以上） レベルアップクラス：市や県主催の大会で上位を目指すトレーニングを実施する（小3以上） エンジョイクラス：技能のみならず基礎体力の向上も目指し、楽しく練習する（幼稚園以上）		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大会でいい成績を残すために今年からレベルアップクラスに移り、専門的な内容を教わっている。</li> <li>● 私は他の競技にも参加するのでエンジョイに入った。少しずつ体力がついてきたことを実感する。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたちは親と相談して、自分に合ったクラスを選んでいるので、指導内容の統一が図れる。</li> </ul>		
運営経費	講師謝金：時給1,600円	生徒参加費：1回500円	
参加人数	のべ約80人（4回実施）	指導者数	3～4人（大学教員1、大学生2～3）
属性	総合型地域スポーツクラブ（大学教員等はクラブ指導者に登録し、クラブから派遣）		
具体的な内容	テーマを決めて生徒を募集。遊びの要素を取り入れたコーディネーション・トレーニングを月1回実施。これまでのテーマは次のとおり。 「スポーツ競技者向けの瞬発力（パワー）トレーニング」「素早く動くためのスピードトレーニング（ステップ含む）」「スポーツ競技者向けの怪我予防と体幹トレーニング」		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽しみながら運動に必要なスキルを伸ばすことができた。学んだことを家庭でも継続している。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学生が中学生に指導する場を提供できたことが最大の収穫。引き続き関わりたい。</li> </ul>		
運営経費	講師謝金：1時間8,050円 大学生謝金：1時間1,000円	生徒参加費：無料	

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

1 陸上競技クラブのクラスのバリエーションを増やしたことで、子どもたちが自分の目指すゴール（大会で上位成績を取りたい、なまならない程度に体を動かしたい等）や現在のスキルレベルを把握し、それにあったクラスを自己選択することができるようになった。これが可能になった背景には、陸上競技クラブの指導者の充実があげられる。それぞれのクラスにはリーダー、サブリーダーがおり、リーダーの方針や参加者のニーズに応じた活動が企画される。活動のバリエーション充実のためには、人的リソースの充実が不可欠である。

2 平日の地域移行の試行として令和6年9月から月1回活動している。中学校の部活動がない日に企画することで、だれもが参加しやすく、また、だれにとっても参考となる内容となるためには、クラブと町教委、大学関係者による密なコミュニケーションが不可欠である。



【陸上競技クラブ（エンジョイクラス）活動の様子】



【和気中学校区トレーニング・クリニックの活動の様子】

##### 今後の課題と対応方針

1 中学生及びその保護者への周知とバスを活用した参加体制づくり  
現在、陸上競技クラブは主に平日の夕方時間帯に活動しており、中学生が授業終了後参加しやすい設定となっている。前述したように、町営バスを利用した自力移動も可能であることから、現在、部活動が設置されていない中学校の生徒の参加や、陸上競技部員の活動参加が期待される。

2 部活動がない日に企画したことで、生徒の休みがなくなった。「部がない日は家でゆっくりしたい」という中学生が増え、だんだん参加者が減ったことから、3学期は、部活動のある日に実施し、希望する部活動への支援という形を試行している。どのような活動時間、活動形態が中学生のニーズに合っているかを、中学生の声も聞きながら計画していく必要がある。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

- 1 受け皿団体独自の取組
  - (1) 既存の賛助会員への働きかけ
  - (2) 収入の増加に向けた取組
- 2 行政機関による取組
  - (1) 受け皿団体と連携した取組
  - (2) 現行の仕組みの見直し

#### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

受け皿団体の一つである総合型地域スポーツ和気クラブは、平成10年代に設立された歴史あるクラブであり、クラブ立ち上げにかかった費用は償還されている。今後、クラブがマイクロバスを購入することを検討しており、toto助成金の活用など、各種補助金の情報提供を行政としてバックアップしていきたい。なお、もう一つの受け皿団体である和気町スポーツ少年団もイニシャルコストは償還済みである。

##### ■ランニングコストの分析

総合型地域スポーツ和気クラブは、町体育館内に事務局をもち、町内社会教育施設の会場使用料が免除されるなど、優遇措置が講じられている。また、地域移行実証事業開始前から町から補助金が支給されている（スポーツ少年団も同様）。補助金を含めた公的資金援助により、現在のところ、会員からの年会費及び参加費収入を安価に設定しても、指導者謝金、交通費を支給できている。

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

収入見込み (①参加費②補助金)

**1,000,000円**

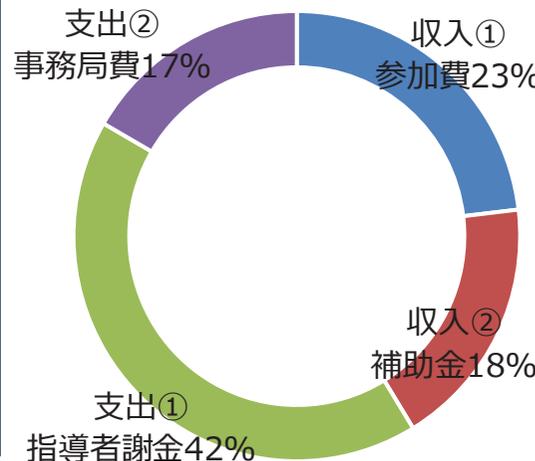
支出見込み (①指導者謝金②事務局費③消耗品費)

**1,500,000円**

**年間500,000円の  
資金調達が必要**

前述したように、総合型地域スポーツ和気クラブは、今後も活動のバリエーションを充実させる方向で考えている。それに伴い経費も増大することが想定されるので、回数、人数等どこまで活動の幅を広げるか、子どもたちや利用者のニーズを踏まえた検討が必要である。

#### 収支バランス



受け皿団体が公的資金に過度に依存することなく、安定的なクラブ運営をするためには、参加者を増やすとともに運営費を削減する必要がある。現在、マンパワーで行っている出欠管理を、ICTを活用した方法に見直すなど、事務負担の軽減を行うことが検討されている。

# 2.実証内容と成果

- ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

#### 取組の成果

1 既存の賛助会員への働きかけ、収入の増加に向けた取組として、町内事業所のリストを作成し、クラブの周知と、支援拡大に向けて動いている。令和7年度向けの賛助会員数は31であり（令和7年2月1日現在）、令和6年度に比べて微増している。今後、町商工会への働きかけも行っていく予定である。また、企業のCSR事業を活用し、助成金の獲得による収入増に取り組んだ。

2 受け皿団体と連携した取組として、町教委と総合型地域スポーツ和気クラブが協力してチラシを作成・配付した（右記参照）。これまで約30事業所が賛助会員となっていたが、さらに支援の拡充を計画している。現行の仕組みの見直しとして、ふるさと納税の支援メニューに「地域スポーツ・文化芸術環境の整備」を盛り込むことができないか、関係課と協議を行っている。

### 教室活動

和気クラブでは、大会やイベント参加を目指す本格的な取組から、楽しく体を動かしたり文化を楽しまれるサークルまで幅広く用意しております。町内各事業所の取組やリンクもあり、皆さまが「身近な環境に気軽に参加いただける活動」もありスポーツの楽しさだけでなく多様な世代との交流が出来るのも醍醐味です。親子で参加出来る活動もありますので是非ご参加ください。

#### 楊家秘伝太極拳

日時 第1・3・5日曜日（和気町体育館）  
19:00～21:00

対象 成人

指導者 水田博幸

参加費 500円/1回

内容 最後まで自分の力で動く。自分の身体の可動域を広げることが可能です。

#### 日曜スッリ体操

日時 第2日曜日（和気町体育館）  
10:00～11:30

対象 大人男女

指導者 菅田英菜

参加費 500円/1回

内容 月々のリフレッシュに不可欠な「身体促進の親子体操」と「ストレッチング」項目から身体を変え、動くための「動きアップ」を習得しましょう。

#### 陸上

##### ☆バレーボールクラス

日時 第1・3日曜日（和気町体育館）  
18:00～19:00

第2・4日曜日（和気町体育館）  
18:30～19:30

対象 幼稚園～小学3年生まで  
学年別別班編成希望

内容 個人の運動能力を上げて学校のイベントで活躍できるように指導いたします。

指導者 町内企業（中・長瀬園）運動部花（和気町）  
高木公子（長瀬園） 野上智博（和気町）  
和気地区（ユーススポーツセンター）  
高野英洋（スポーツ会館）

参加費 500円/1回

##### ☆バドミントンクラス

日時 第3日曜日（和気町体育館）  
18:00～19:30

対象 習熟者の小学生～中学生以上

内容 動き、跳ぶ、送るなど技術を身につけていきます。学年別上級者クラスも設けられています。将来的にトッププレイヤーを目指しましょう。

##### ☆レベラップクラス

日時 第1・3・5日曜日（和気町体育館）  
第2・4日曜日（和気町体育館）18:00～19:30

対象 小学3年生～中学生以上

内容 県大会の大会で上位を目指すトレーニングを実施いたします。  
陸上スポーツクラス、レベラップクラスともに個人のトレーニングを行います。また予備は個人となり参加の希望の際は協議した上で参加をご検討ください。

##### ☆エンジョイクラス

日時 第2・4日曜日（和気町体育館）9:00～11:00  
後者期によって参加期間の可能性があります

対象 小学生～中学生以上

内容 「陸上」のみならず「基礎体力」の向上を目指し、お友達と競い合って楽しく練習いたします。

その他 教室の中心や楽屋、大会の案内を教習専用LINEにて配信いたします。  
陸上、陸上競技場からお気軽にお問い合わせください。  
陸上教習専用LINE ID: @000000000000

【総合型地域スポーツ和気クラブ令和6年度パンフレット（抜粋）】

### サークル活動

#### ピンポン

日時 毎週水曜日（和気町体育館）  
19:00～21:00

対象 幼稚園～成人

指導者 鈴木三三

参加費 100円/1回

内容 小さいお子さんからおじいちゃん、おばあちゃんまで幅広く参加しています。初めでも大丈夫、家飲み歓迎です。

#### ソフトテニス

日時 第2・4日曜日（和気町体育館）  
19:00～21:00

対象 小学生～中学生～成人

指導者 津井博樹

参加費 200円/1回

内容 和気町の有明は自然が多く美しく素晴らしいです。初心者からレベルアップまで出来るように、指導者も丁寧なサポートをさせていただきます。

#### バドミントン

日時 第1・3日曜日（和気町体育館）  
19:00～21:00

対象 幼稚園～成人（幼稚園保護者同席）

指導者 中上直哉

参加費 100円/1回

内容 初心者から上級者まで大歓迎！一緒に練習をしましょう。

#### バレーボール

日時 第2・4日曜日（和気町体育館）  
18:30～19:30  
第1・3日曜日（和気町体育館）  
18:00～20:00

対象 小学生～成人

指導者 山本純・三村航矢

参加費 200円/1回

内容 団体のあふれる、上手になりたい、楽しく一生懸命にプレーが出来たらいいな、初心者歓迎、親子で参加できます。

#### バスケット

日時 第1・3・5日曜日（和気町体育館）  
19:00～21:00

対象 小学生～成人

指導者 秋久昌英

参加費 無料

内容 性別を問わず、中学生から大人の方まで広く参加して頂きます。練習や試合も、初心者の方も楽しくバスケットを楽しめます。

#### ゴルフ

日時 第1・3日曜日（シーサイドゴルフ山崎）  
14:00～16:00

対象 5歳～成人

指導者 藤田圭

参加費 200円/1回（別途ゴルフ）

内容 クラブにボールが当たらないならゴルフクラブ（子供用）は無料無料貸出し。お電話予約は0147-6499-3178-3474

#### 電気・機械で遊ぼう

日時 第3日曜日（中気地区）  
13:00～17:00  
後者期5日間隔で1回参加可能

対象 小学生～成人

指導者 田中康夫

参加費 材料費

内容 普段では触れられない電気、機械の世界が広がるかもしれません。お友達と、親子で、参加可能です。

### 今後の課題と対応方針

人口減少による税収の減少、物価上昇等による支出の増加等により、町財政はひっ迫しており、地域スポーツ・文化芸術環境づくりのために新たな予算を配分することは困難な状況である。そのような状況下でも、子どもたちに多様な体験機会を確保するためには、関係者それぞれが知恵を絞ることが必要であり、町財政の外から資金をもってくるのが不可欠である。

一方で、支出の大部分は人件費（指導者謝金）である。「活動には指導者が不可欠である（子どもは大人に指導してもらうものだ）」「指導者には謝金が必要である」といったこれまでの常識にとらわれず、子どもと一緒に大人も楽しむ場づくりや、参加者が主体的に活動内容を決められる体制づくりなど、参加費用にとらわれない活動づくりも模索していきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 1 小・中学校運動場を活用した地域クラブ活動の展開  
(陸上競技クラブ)
- 2 中学校体育館を活用したトレーニング・クリニックの開催  
(生徒の移動の負担軽減)

##### 取組の成果

- 1 これまでも総合型地域スポーツ和気クラブの活動で小・中学校運動場を活用していた。2つの中学校があるエリアそれぞれで活動を行うことで、一方のエリア居住者のみに移動の負担を強いることがないようにしている。
- 2 令和5年度末に試行したトレーニング・クリニックは、中学校からやや離れた町体育館で開催したことで、参加者が少なかった。生徒の放課後の移動の負担軽減のため、本年度のトレーニング・クリニックは部活動がない時間に中学校体育館で行ったところ、生徒は、部活動と同じ流れで活動に参加でき、活動開始当初は、多くの参加者が集まった。



【中学校体育館を活用したトレーニング・クリニックの活動の様子】

##### 今後の課題と対応方針

町内にある社会教育施設（体育館等のスポーツ施設）はほとんどが町営である。現在、それぞれの施設はそれらを管轄する部署に直接、来所または電話で申し込みをするようになっている。今後、学校体育施設を含め、

全ての部署にICTを活用したオンライン申し込み（例：公共施設予約システム等）を導入することで、利用団体の利便性が向上すると考えられる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

- 1 学校と地域クラブ活動との連携強化に向けた取組  
・地域スポーツ・文化クラブの指導者を部活動指導員として中学校に配置（ソフトテニス、陸上競技、卓球に加え、本年度吹奏楽で配置開始）
- 2 中学校部活動顧問と連携した取組  
・地域クラブ活動への参加についてのバックアップ

##### 取組の成果

- 1 一部の運動部については、部活動指導員としての配置2年目を迎え、クラブ指導者と生徒との人間関係が醸成されてきた。部活動指導員が指導者として関わっている地域クラブ活動に参加する生徒が増えた。また、顧問が当該競技等の未経験者の場合、部活動指導員は、専門的な見地から部活動の指導を行うことができ、教員の心理的な負担の軽減につながっている。
- 2 地域クラブ活動主催行事・活動に対して、中学校教員が情報提供したり、部活動を休止したりすることで、生徒はそれらの活動に参加しやすくなるとともに、中学校教員も地域クラブ活動の存在を知り、理解を深めることができた。3学期のトレーニング・クリニックは、部活動顧問からのリクエストで平日の部活動に指導者が関わることに繋がった。

##### 指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性  
総合型地域スポーツ和気クラブ指導者（職業は会社員が多いが、自営業等、平日放課後に指導に従事しやすい方もいる）
- ・配置の工夫  
町の会計年度任用職員として任用し、部活動指導員配置事業として町から謝金、交通費を支給

##### 一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

ソフトテニス：A中学校の生徒の多くは、総合型地域スポーツ和気クラブ（ソフトテニスクラブ）にも所属。中学校部活動顧問はソフトテニス未経験者だが、部活動指導員として配置された和気クラブ（ソフトテニスクラブ）指導者が指導したことで、生徒は学校とクラブともに同じ指導者による指導を受けることができた。本年度、男子ソフトテニス部は岡山県中学校夏季総合体育大会（団体の部）で優勝という成績を収めた。

##### 今後の課題と対応方針

地域クラブ活動指導者の多くは会社員等、平日は夕方まで仕事に従事しているため、平日の地域クラブ活動開始時刻が午後7時ごろになっている。従業員が地域クラブ活動に従事する等の地域貢献をする際、事業所（所属長）は当該職員の勤務時間の融通を利かせるなど、地域クラブ活動の理解促進に向けた啓発を社会全体で行っていく必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

本年度、①「中学校にある部活動の大部分の受け皿を町内に確保」②「広域的な受け皿づくりのための協議体の設置と継続的な協議」③「受け皿団体に複数の指導者を確保し安定的な指導体制を確立」を重点取組に設定した。以下にこれらを総括する。

①町単独で受け皿を作っても、チームを編成できない野球、サッカー以外の運動部について、受け皿確保（ガバナンス組織傘下への加盟等）を目指したが、町内で活動している柔道、バレーボール団体とは令和7年2月時点で合意に至っていない。今後も引き続き協議を行っていく予定である。

②部活動の地域移行を単一自治体だけで進めようと、保護者から「なぜ、和気町だけ部活動がなくなるのだ」という反発がある可能性が高いことから、エリア全体で地域移行を進めていくための協議体を設置し、継続的な情報共有を行う体制づくりができた。

③これまで指導に携わっていた地域住民に加え、体育系大学との連携を密にすることで、大学生の支援を受けられる可能性が出てきた。両者のマッチングができれば、指導の幅の拡大等につながると考えられる。

#### ●成果の評価

本年度の重点取組の達成状況をA～Cの3段階で評価すると次のとおりである。

重点①：達成度C（柔道、バレーボールについて未達成のため）

重点②：達成度A（各自治体と調整し、定期的な情報交換ができたため）

重点③：達成度B（一部競技について、大学との連携が進んだため）

重点取組以外について、学校にない競技・種目の体験の場づくりについて、協議は行ったものの年度内の実現には至らなかった。一方、児童生徒の意見を受けた新たな受け皿（ダンス）の設置に向けた動きが進んだことは評価できていると考

#### ●今後に向けて

令和7年度の取組の重点事項は次の3点を考

（1）県の方針に沿った休日の地域クラブ化とそれに向けた環境整備

岡山県教育委員会は、令和7年度、中学校設置部活動の全てについて休日の地域クラブ化を進めるとした。本町でも、この方針に従い、全ての設置部活動の受け皿となりうる団体を整備する。その際、地域クラブ活動のガイドラインを整備し、それに沿った活動を行う団体を認証する制度の創設を検討している。

（2）地域クラブ活動に関わる人材の発掘

（1）の実現には地域住民や大学生等、様々な大人の存在が不可欠である。指導者だけでなく、中学生年代と一緒に活動することを希望する大人を増やしていきたい。

（3）持続可能なクラブ運営のための財源確保に向けた取組の推進

安定した財務基盤構築のため、賛助会員の増加や町商工会との連携等をクラブ主導で行っていけるよう、クラブ理事等が活動できる予算を確保したい。

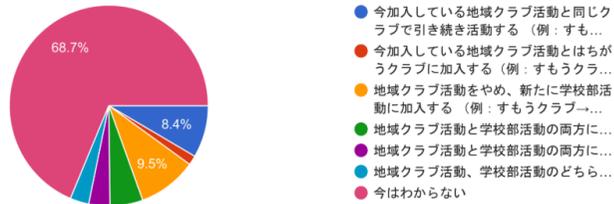
## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果

Q.入学後、今、加入している地域クラブ活動と、中学校の部活動のどちらに加入しますか。【児童向け質問】

#### 中学校入学後の活動希望（小学校）

問3 現在、中学校には部活動がありますが、子ども...今の気持ちに最も近いものを教えてください。  
262件の回答

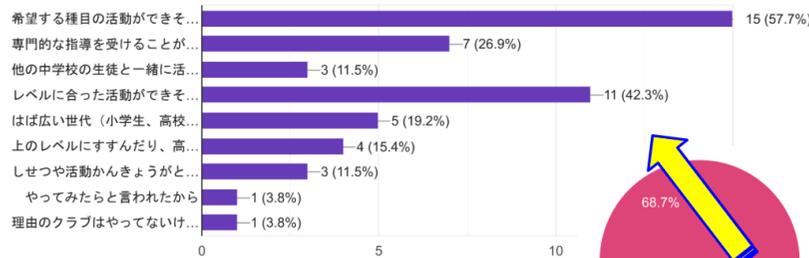


「今はわからない」が約69%を占めているが、それ以外では「地域クラブ活動をやめ、新たに学校部活動に加入する」が約10%（25人）と最多。現在のクラブの継続も約8%（22人）。

Q.地域クラブ活動に加入する理由を教えてください。【当てはまるもの全てにチェックをつけてください】【児童向け質問】

#### 地域クラブ活動に加入する理由（小学校）

問4 地域クラブ活動に加入する理由を教えてください...てはまるもの全てにチェックをつけてください  
26件の回答

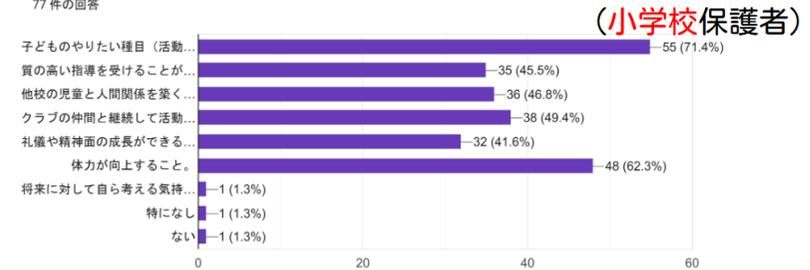


「希望する種目の活動ができそうだから」「レベルに合った活動ができそうだから」が上位。

Q.お子さまが地域クラブ活動に所属して良かったと思うことを教えてください。【保護者向け質問】

#### 自分が地域クラブ活動に所属して良かったと思うこと

問5 お子さまが地域クラブ活動に所属して良かったと思うことを教えてください。【複数回答可】  
77件の回答

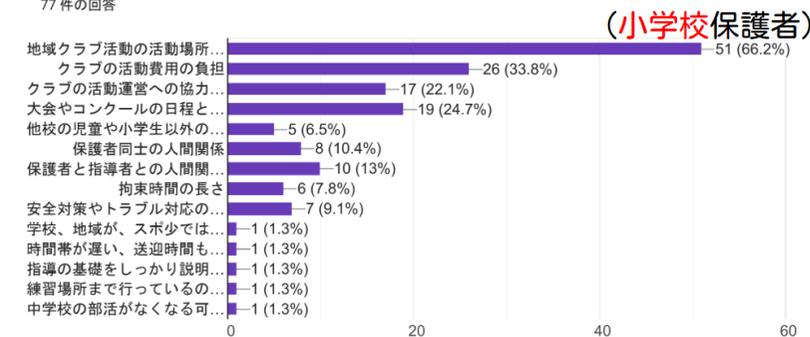


「子どものやりたい種目（活動）に取り組ませることができること」「体力が向上すること」「クラブの仲間と継続して活動することができること。」が上位。

Q.お子さまが地域クラブ活動に所属して、課題に感じていることを教えてください。【複数回答可】【保護者向け質問】

#### 自分が地域クラブ活動に所属して課題に感じていること

問6 お子さまが地域クラブ活動に所属して、課題に感じていることを教えてください。【複数回答可】  
77件の回答



「地域クラブ活動の活動場所までの送迎」「クラブの活動費用の負担」「大会やコンクールの日程と学校行事の日程との相違」「クラブの活動運営への協力負担」が上位。

## 2.実証内容と成果③

### 広報資料

(左) 和気クラブ令和6年度パンフレット

(右) バスケットボール「レベルアップクラス」体験参加者募集チラシ

(中) トレーニング・クリニック参加者募集チラシ (9月作成)

(令和7年1月作成)



総合型地域スポーツ  
**和気クラブ**

子供からシニアまで、幅広く教室を開催しています

**会員大募集中!**

クラブ会前でも体験可能! まずはお問い合わせください

子どもに運動の楽しさを伝えたい方、子どもの安全を助けてくださる方もお待ちしております

和気町体育館内 和気クラブ事務局  
〒709-0442 岡山県和気郡和気町福富312-1  
休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

Tel./0869-93-3605 Fax/0869-93-3593  
E-mail/wakeclub@oregano.ocn.ne.jp  
LINE/@wve8126m

令和6年度 部活動の地域移行等実証事業

## トレーニング・クリニック 参加者募集中

主催 総合型地域スポーツ和気クラブ  
共催 和気町教育委員会

あらゆるスポーツをする上で基礎となる  
「調整力(コーディネーション)」を  
楽しみながら高めてみませんか?



3月に和気町体育館で実施したトレーニング・クリニックの様子

○実施日 9月17日(火) 15:35~16:50 (17:00解散)  
10月28日(月) 15:30~16:50 (17:00解散)  
11月18日(月) 14:10~15:50 (16:00解散)  
12月3日(火) 15:20~16:50 (17:00解散)  
※いずれも、中学校は一言下校(部活動・放課後活動なし)の日です。

○実施場所 和気中学校体育館

○対象 和気中学生(学年及び所属部活動は問わない)

○準備物 運動のできる服装、体育館シューズ、タオル、水筒

○講師 環太平洋大学体育学部講師 江波戸 智希氏  
大学生数名

○内容 レクリエーション要素を加味した  
コーディネーショントレーニング

○申込方法 右記QRコードからお申込みください。  
(実施日の3日前に×切ります。9/17の場合、9/14×切)

○問合せ先 和気町教育委員会学校教育課 (0869) 88-1115



総合型地域スポーツ和気クラブ・和気町教育委員会共催

## バスケットボール 「レベルアップクラス」 体験会

現在、和気町では、総合型地域スポーツ和気クラブ等と連携し、中学生のスポーツ・文化環境づくりをすすめています。  
その一環として、今後、和気クラブ内に、バスケットボールのスキルアップを目的とした「レベルアップクラス」の開設を考えています。  
今回、環太平洋大学体育会男子バスケットボール部にご協力いただき、体験会を開催することになりました。

**2月4日(火) 17:00~18:30**  
**3月13日(木) 17:00~18:30**

場所: 和気町体育館メインアリーナ  
(和気町福富312-1)

**参加無料**

対象: 中学校バスケットボール部員  
和気クラブ バスケットサークルまたは町外のバスケットクラブチームに所属している町内の小学6年生

持ち物: 運動のできる服装、バスケットシューズまたは体育館シューズ、タオル、飲み物

ゲスト: 環太平洋大学男子バスケットボール部員

・参加希望の方は、右のQRコードを読み取り、お申し込みください。  
(開催日の3日前を締切とします。)

・本取組は、学校管理下外の活動となるため、(独)日本スポーツ振興センター災害共済給付の対象外となります。

・終了時刻が日没後となります。行き帰りにはご注意ください。  
※環太平洋大学男子バスケットボール部の情報はこちらから。→

■お問い合わせ先 和気町教育委員会学校教育課 (0869-88-1115)




## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【バドミントンクラブの活動場面】



【ソフトテニスクラブの活動場面】



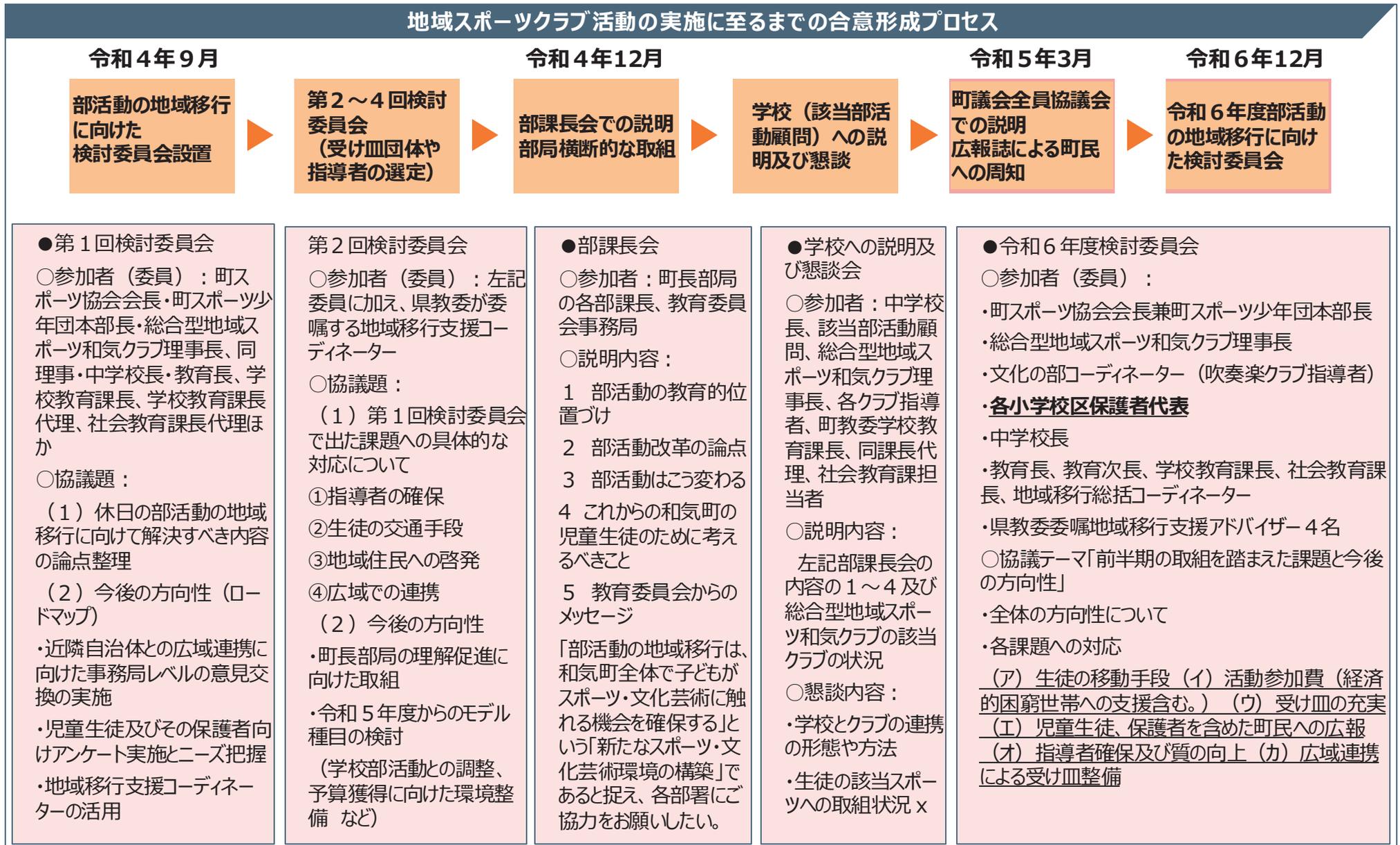
【和気中学校区トレーニング・クリニック】



【バスケットサークルレベルアップクラスの活動場面】

# 2.実証内容と成果

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 休日の部活動の地域移行の実現に向けた和気町グランドデザイン (R4~R7)

R 6 当初版

部活動の地域移行に向けた検討委員会における協議  
(取組の目的等の理解、論点整理、課題解決に向けた検討…)

R 4

R 5

R 6

R 7

生徒・保護者・教職員・地域住民等の声や外部有識者等の助言を踏まえた協議 (町検討委員会)

**新** 近隣自治体との広域連携による受け皿整備 (軟式野球・サッカー)

スポーツ少年団を受け皿とした地域移行の実施 (剣道)

**学校とクラブの連携強化**  
(クラブ指導者を部活動指導員として学校に派遣)  
(ソフトテニス・陸上競技・卓球・吹奏楽)

重点事項

拡充

**新** クラブ未設置の学校部活動の受け皿づくり (バレーボール・柔道)

学校未設置スポーツの受け皿づくり (バドミントン・レクリエーション活動等)

・国の補助金を活用した体制整備 (コーディネーター・体制整備補助員配置、指導者への謝金、困窮世帯支援)  
・指導者研修の充実による質の向上

・野球・サッカー・創作を除く部活動の受け皿団体を町内に確保  
・広域的な受け皿作りのための協議体の設置と継続的な協議  
・受け皿団体に複数の指導者を確保し安定的な指導体制を確立

※令和6年度中に重点事項を決定

**拡充**  
総合型地域スポーツクラブ等への移行?

R 7 末

町内2中にある**全ての部活動の休日における活動の地域移行の実現**  
受け皿となる団体の持続可能な運営体制の**実現**→「**新たなスポーツ・文化芸術環境の構築**」